



3月 発信

桃の節句をふかえ「ひなまつり」の歌が階下のユ=アから聴えています。  
2月はインフルエンザやおせによる高熱、咳、鼻汁が大勢数でした。  
その他、ウイルス性胃腸炎(ロタウイルス感染症等)、中耳炎、水痘も数人ずつ  
ありました。

今月の病児は全体に年齢が低い(1.2歳児が大半を占めた)健康なお手紙とは違い、一人の病児に一人の保護者が必要の場合が多く一人に何人の欲求に答えるために奮闘の毎日でしたが皆さん  
元気に帰られてよかったです。

女医先生のお話



「病児保育」を始め、1年半が経ちました。  
また、このよりの施設は全国で少なく注目されています。テレビの  
取材もありました。 藤沢市の理解があって、私達の街にこのよりの  
「子ども達の場」が身近かあることを誇りにしたいと思っています。

最近 中学生の体験学習の場として、キッズプラザやユ=アプラザも  
訪れる生徒さんが増えました。生徒さん利用者さんも楽しんでく  
れます。

病児保育は 保護者がするものが一番大切ですが。  
しかし、それが色々な理由でできない日に少しお手伝いする  
のが 私達 スタッフの勤めです。 スタッフは皆その専門家です。

又、色々の病気がうつらないよう 部屋(安静室)を分けたり、  
部屋の中の設備を工夫してあり、気軽に利用下さい。